

k a r i n

華輪

2010  
12

FDA

フラワーデコレーター協会

特集

FDAフラワーデコレーターグランプリ2010

艶やかに  
咲き誇る





# CONTENTS

Karin December 2010 Number 90



2 第18回フォトコンテスト募集要項  
 4 FDA INFORMATION  
 7 FDA2級・1級／FPF1級合格者一覧  
 8 セミナー案内  
 11 **認定教室・認定校を  
開設できます**  
 12 2011年度各種ライセンス認定試験受験要項  
 14 ヨシタミチコの色彩エッセイ…… ヨシタミチコ  
 16 **特集『FDAフラワーデコレーター  
グランプリ2010』結果報告!**  
 24 HANAKATSU REPORT …………… 清水美絵  
 25 ヨーロピアン的花の楽しみ方 …… AOKI 純子  
 26 資材屋さんのオススメ情報  
 28 発想のタネ …………… 武内美穂  
 31 **花市場だより (最終回)**  
…………… 横山久二  
 32 フラワーデザインの周辺 …………… 倉田和美  
 34 FDAフラワースクール



38 『花写っ!』と撮りたいっ  
(最終回) …………… NAWOTO  
 40 お花を長く楽しむテクニック…… 恵見けいこ  
 42 明日はもっといい日! …………… さとうけいこ  
 43 **FDA REPORT**  
～FDA創立20周年記念祝賀会～  
 44 作品展&イベント  
…………… フラワーアレンジメント教室 Green Rose  
 46 …………… フラワースクールサラ  
 48 …………… エコール ダート フローラル Grandir  
 49 **HANAKATSU REPORT** …………… 恵見けいこ  
 50 …………… 池田慶子



51 協会の声  
 53 FDA通信&プレゼント応募用紙  
 54 住所変更届書&書籍購入用紙  
 55 FDA発行書籍一覧  
 56 書籍紹介  
 差込カレンダー (2011年1月・2月)



## ヨシタ ミチコの色彩エッセイ

### 花やか・華やか

「花やか・華やか」は、美しいこと、ものごとの盛りであること、気持ちがときめくこと、すべてが栄えることなどの意味をもつ言葉です。

日本の能楽は、650年もの間、基本の形をほとんど変えずに伝承されてきた世界で一番古い舞台芸能ですが、その能楽論にも演技や演奏のすばらしさが観客の感動を呼び起こすさまを草木の開花にたとえて、“花・華”と呼ぶ習慣があります。花・華は、晴れやかでめでたい言葉なのです。

#### ■創造性が作品を決めるキーワード

秋はすべてが実りを迎える豊穡の季節。山野も紅葉で彩られ、それとともに、芸術の秋、文化の秋を象徴するように、日本各地で展覧会や芸術祭が開かれ、文化に功績のあった人を顕彰する「花やか・華やか」な催しも盛んです。

今年の文化勲章は、色彩と結びつきの深いファッションと建築の分野から、服飾デザイナーの三宅一生さんと建築家の安藤忠雄さんが選ばれましたが、イッセイミヤケのブランドでつねにファッション業界をリードし続ける三宅さんは、プリーツプリーツの商品でファッショントレンドを確立した人です。

安藤さんのデビュー作は「住吉の長屋」ですが、木造長屋の真ん中にコンクリートの箱をはめ込んだような中庭を作り、風や雨を取り込んだ自然の気配と暮らす住宅を提案して鮮烈な印象を残しました。

このお二人に共通しているのはオリジナリティあふれる創造性が作品のキーワードであること、発想の斬新さが作品づくりの出発点になっていることです。これは花のクリエイターであるフラワーデコレーターにもいえることです。

#### ■FDAフラワーデコレーターグランプリ2010

東京国際フォーラムで第2回FDAフラワーデコレーターグランプリ2010が開かれました。300余人のなかから選ばれた20名による本選審査で今年のアレンジメントのテーマは、『進歩』。

次第によい方へ望ましい方へと進み変化してゆくことを意図した作品群は、さすがグレードの高いものでした。

作品の表現力は、いつも花材選びとともに、配色調和が審査対象になります。同時に花材のおさまり具合をふくめた技術力、クオリティの高さが求められます。

今年のグランプリは中野記美夫さんでした。小さな花器から発生して螺旋状に伸びてゆく円の連なりが、見る者のイメージーションを限りなくかき立てる象徴的な作品です。

また、花束は、当日与えられたテーマに基づき制作するため、指定時間内に、花材やリボン、ペーパーなどの資材選びの瞬発力が必要です。それと、デザイン性、技術力、表現力など日頃の手なれた感性とスピード感が試される場でもありました。

作品全体を通して感じることは、それぞれ

の完成度が高くなっていること。まさに今年の本選審査のテーマである『進歩』と連動するように、グランプリのクオリティそのものが向上し、頼もしいかぎりです。

## ■FDAは「花やか・華やか」に進歩します

この秋はグランプリの開催とともに、全国総合研修会とFDA20周年記念祝賀会が東京・渋谷で開かれ、北海道、山口、岡山、福岡など全国にある認定校の先生方が一堂に会しました。

毎年の研修会でお会いする方々や久しぶりの先生方などさまざまですが、皆、和気あいあいと楽しそうで、あちこちで話しの輪が広がっていました。

花を通して同じ方向性をもつ仲間がいることは心強くすばらしいことです。先生同士の交流をさらに深め、これからの20年をめざしFDAとともに「花やか・華やか」に進んでいきましょう。



●好感度を上げる配色ルール&色彩テクニック]が池田書店より発売になりました。(定価1,470円)

自分に似合う色を診断し、その配色テクニックをメイクアップやアクセサリを含めたファッションとインテリア事例で多数紹介しています。

配色ルールを知るとイメージ表現は自由自在です。色の好感度を高め、暮らしの楽しさを手にしてください。



# 明日は もつと いい日！

文：さとう けいこ  
(FDA認定校 タイニーベル主宰)

どんなに暑かった今年の夏も  
もう忘れてしまいそうな街の賑やかさです。  
忙しく毎日を過ごす皆さんへ 今回も心をこめて・・・

## Vol. 39 ほめられ上手になろう

毎年きせつが変わる今頃、活けこみの計画や、出張セミナーなどで慌しくなります。

仕事の現場が変われば、ひと(対象者)が変わるわけで、その会場ごとに集まるお客さんや生徒さんに合わせて自分を高めていくことが、それまでにこなさねばならない私自身の仕事ということになります。大手企業のセミナーであろうと、幼稚園のPTA行事であろうと、それはおなじ。そこに集まる人の年齢や環境や、何を求めているかを考えてシミュレーションをします。コレがたのしいんだよね♪

レッスンのねらいが決まれば、花材やデザインが決定。どんな風に流れをもっていくかを考えていきます。当然、話し方や服も演出上の要素なのでしっかり企画に盛り込んでいきますよ。だってその時間は対象者にとってわたしはエンターテイナーなんですから!

いろんな場所にあわせてレッスンの内容も自分も変えていくことは私のセミナーでは大事なことなだけで、もいっこ。

レッスンが始まるそのときに皆さんにお願いすることがあります。それは

「ほめられ上手になってください」

ということです。

みなさんは「今日の服かわいいね。」とか「メイクきまってんじゃん。」、「お菓子作りがじょうずね。」などなど誰かにほめられて、何て答えていますか?

この日本では謙遜は「美德」と考えられてきました。だから、ご近所文化のおすそ分けも「お口に合わないかもしれませんが」とか「つまらないものですが」なんて云って、相手の期待を裏切らない程度のお勧めの仕方が定着したと思われます。

正直、つまらないものなんていらぬし、「口に合わないものも持ってこないでよ。」って思わないでもないヘンな会話ですよ!

けどこうして謙って培った「美德」は、学びの場において自分の力を抑えてしまうことに繋がっているように思えます。例えば、教室でお隣さんや先生に「素敵ね」ってほめられて「いえいえ、わたしなんか・・・」って声がよく聞こえます。悲しいよね、冷静に考えてみたら頑張った自分への評価を自ら砕いてしまってるんですもの。そして同時に周りの人の伸び率も下げにかかっているんだよ。そんなレッスンにお金も時間もかけて何の値打ちがあるんだろう。

教室は講師を含め、自分を高めあう場所だと信じています。ほめられることにどうぞ慣れてください。ほめられた自分を大切にしてください。(天狗になれというわけではありません)そしてあいてのいいトコを自然に口に出せる自分は、冷静な目、つまり鑑賞の力も備わった証拠なのですから。

「場所は変われど、人の心は変わらず。」

ほめてほめられて楽しいと思える、そんなたった2時間を、今日も私は繰り返しています。そして皆さんにまた再び出会えることを楽しみにしつつ・・・♪



「みつけあって・ほめあって」